

**生成A I 利用環境整備委託業務
公募型プロポーザル選定委員会 議事要旨**

項 目		内 容
1	日 時	令和6年6月6日 9:15～16:10 まで
2	場 所	オンライン
3	出席委員	総務局 情報戦略担当部長 総務局 デジタル県庁推進担当課長 総務局 県庁情報システム担当課長 総務局 人事課行政経営担当監 土木建築局 建設DX担当課長
4	議 題	企画提案内容の審査及び最優秀提案者の決定について
5	担当部署	総務局 県庁情報システム担当
6	開催方法	参集（オンライン）
7	議事内容	<p>提案された企画提案を基にプレゼンテーションを行い、選定委員会において審査の上、最も高い得点が上位の提案者を最優秀提案者として選定した。</p> <p>1 提案者（最優秀提案者：◎）</p> <p>◎A社：株式会社 Exa Enterprise AI （構成企業：株式会社エクサウィザーズ）</p> <p>B社：合同会社 EasyDialog</p> <p>C社：株式会社 FIXER</p> <p>D社：株式会社電通西日本 広島支社</p> <p>E社：株式会社日立システムズ 中国支社</p> <p>H社：西日本電信電話株式会社 中国支店 （構成企業：エヌ・ティ・ティ・スマートコネクト株式会社）</p> <p>2 各委員の主な評価・選定理由</p> <p>【A社】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登録アカウント数の制限もなく、トークン数についても GPT モデルによっては無制限で利用できるなど、一定の予算の範囲内で希望する職員が利用可能な環境となっている。 ・誤入力防止や、多様なプロンプトテンプレート機能など、昨年度の試行結果を踏まえた付加機能の提案がなされている。また、RAG 機能、研修など利活用促進の提案も充実している。

【B社】

- ・オーダーメイドでどのような対応も可能ということであるが、提示した予算でどのようなことができるかという具体的な提案がなかった。
- ・システム構成が不明確で、パイロットで要件確認した結果によっては予算超過になる可能性がある。

【C社】

- ・独自のテンプレート作成の際のサポート機能が充実しており、利活用促進に繋がるのが期待できる。
- ・トークン数の上限がなく利用可能な点は評価できるが、登録アカウント数を増やすには追加料金が必要となり、利用拡大を図る際に予算超過になる可能性がある。

【D社】

- ・登録アカウント数の制限もなく、トークン数についても GPT モデルによっては無制限で利用できるなど、一定の予算の範囲内で希望する職員が利用可能な環境となっている。
- ・LGWAN 環境での提案をされており、県の利用環境（インターネット環境）を前提とした構築になっていない。

【E社】

- ・ハンズオン形式での研修などサポート体制が提案されており、利活用促進に繋がるのが期待できる。
- ・GPT-3.5 のみの提供となっており、利用上限に達した場合もサービスを自動停止できないほか、個人情報の入力規制がないことなどに懸念がある。

【H社】

- ・登録アカウント数について柔軟な対応が可能であるほか、仕様書を上回るトークン数が利用できるなど、本業務の目的に沿った提案となっている。
- ・全職員向けの基礎研修に加え、活用スキル習得・向上のための研修実施を提案するなど、利活用促進に繋がるのが期待できる。